

祇園小学校 校長だより（第14号）

平成30年7月4日

「清心」

文責 校長 中原弘之

学校教育目標 「学校と地域を愛し、知・徳・体の調和のとれた児童の育成」

学校閉庁期間

土曜・日曜も含め、8月11日（土）から15日（水）までを全市内小・中学校で学校閉庁期間としています。夏の学校省エネ対策や子どもたちのリフレッシュ、家庭でのふれあい、地域活動への参加などを趣旨としていますのでご理解のほどをお願いいたします。職員は学校にいませんので、事故や事件、入院、転校等の緊急な場合は担任又は教育委員会学校教育課（☎24-1111、内線3132）へご連絡をお願いいたします。

卒業記念制作の劣化、撤去

光園小学校第41回卒業生（昭和51年3月卒業）制作の「鳩をかたどった像」と、第42回卒業生（昭和52年3月卒業）制作の「ブロックに彫り込んだレリーフ」が祇園小学校校舎横から登った体育館横の駐車場付近に残されています。大切な卒業記念制作ですが、劣化が激しく、地震が起きた際などに倒壊する危険性があります。

大阪の地震でブロック塀の下敷きになって亡くなった児童がいたことを受け、改めて教育委員会担当者とも確認をした結果、撤去をしたいと考えています。すべての卒業生にお知らせすることは不可能ですので、地域に居られた卒業生の方を通じて可能な範囲で周知をしていただくようにしています。祇園小学校のホームページでも周知します。

撤去の期日は定まっていますが、早々に撤去するわけではありませんので、例えば、お盆で帰省された方々が記念撮影をすることは可能です。お知り合いの方がおられたら、情報提供をしていただくとありがたいです。

祇園歴史の旅（その14）「光園小学校の沿革（前編）」

光園小学校の学校要覧等をもとにその沿革をご紹介します。

明治42年4月、祇園小学校として創立。大正6年4月、祇園女児尋常小学校（女児だけ）と改称。同年同月、光月尋常小学校（男児だけ）創立。昭和8年10月、光月・祇園両尋常小学校が合併し、光園尋常小学校創立。昭和16年4月、光園国民学校と改称。昭和20年6月29日の佐世保大空襲により、校舎等消失。その後、琴平国民学校と戸尾青年学校仮校舎を借用して授業が行われました。